

# みなみかぜ便り

## 議会質疑回数No.1

新しい年を迎え、皆様ますますご健勝のことと存じます。昨年は、9/14～10/25、11/28～12/7にかけて市議会が開催され、多くの質問をしました。議員の最大の仕事は、データに基づく論理的な質問をし、政策提案をいかに市政に反映させるかだと考えているため、議員でないといけない事だからです。

皆さんの声をお聞きし、間違った市政を正し、市民利益を向上させることだけに力を注ぎたいから、ずっと市民目線で、しがらみのない無所属市議を貫きます！  
今年も、即実践の身近な神戸市会議員であることをお約束します。



### 市民目線100%

### しがらみ 0%

## 「夏休みの宿題」量・質は適正？

決算特別委員会（教育委員会）  
令和4年10月5日

（上原）

夏休みの宿題の意義は、未習熟な部分をなくす復習と、長期休暇でなければできない興味のある事を深める事にある。しかし現実には、手を動かすだけのドリルや英単語・漢字の書き写しなど、習熟度に関係なく一律に出す学校が多い。現状の「夏休みの宿題」の質・量は果たして相応しいのか？

（教育委員会事務局教育次長）

教育委員会としても、夏休みの宿題の量が多いという声があるということは認識している。子供たちにとって過度な負担とならないように留意することが重要である。

（上原）

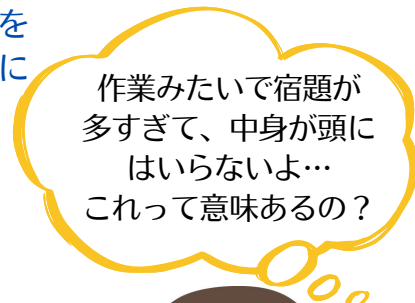
個々の学力や習熟度に応じて学習段階別に出すとか、宿題の内容は児童生徒が自分で決めるなど、自主性を持たせた有効な宿題に早期転換すべきではないか？

（教育委員会事務局担当部長）

宿題を児童生徒自身が決めるということは、自分の学習状況をしっかり理解して目標を自分で設定するという事で、今求められている主体的な学び、個別最適な学びの実現として非常に重要。御指摘の通り教育委員会として、主体的な学びの重要性という観点も盛り込んだ指針を作成したい。

（上原）

学校任せにせず、慣習にとらわれない見直しをして頂きたい。  
夏休みの宿題を改善することで、教員の負担軽減にもなれば良いと考える。



作業みたいで宿題が多すぎて、中身が頭にはいらぬよ…  
これって意味あるの？



## 校則見直しの推進

決算特別委員会（教育委員会）  
令和4年10月5日

（上原）

校則見直しが進みにくい要因に大人の慣習の影響があると思う。例えば、「靴下は白」という校則を無くし他の色の靴下を履いている中学生を見て、住民から学校に苦情の電話が掛かってくると聞く。学校は「子ども達の自主性を育み、尊重するため白一色に限定するのは止めた」と毅然とした態度で対応すべきではないか？

（長田教育長）

おっしゃる通り、地域住民に校則を見直した経緯や意義、考え方をしっかり説明すべきである。

## シェフ監修による日本一美味しい中学校給食へ

決算特別委員会（教育委員会）  
令和4年10月5日

「市内のシェフが中学校給食に関わることで、喫食率40%の現状から食べたくなる給食への転換」を、令和3年2月議会で提言。実現の第一歩として昨年度、中学生が応募したアイデアメニューの審査員に神戸のシェフが加わり、「シェフ賞」が誕生。受賞メニューが給食として提供され大好評！今後、さらに展開される予定。



保温食缶を利用し、  
主菜を温かく提供できる  
日が少し増えます♪  
中学校給食半額も続くよ♡



タイムリーな  
市政情報配信  
是非ご登録下さい

サイトも  
リニューアル  
します



# リモートワークの若者転入促進で、神戸の若返りと人口減少対策を！

一般質問・令和4年12月7日

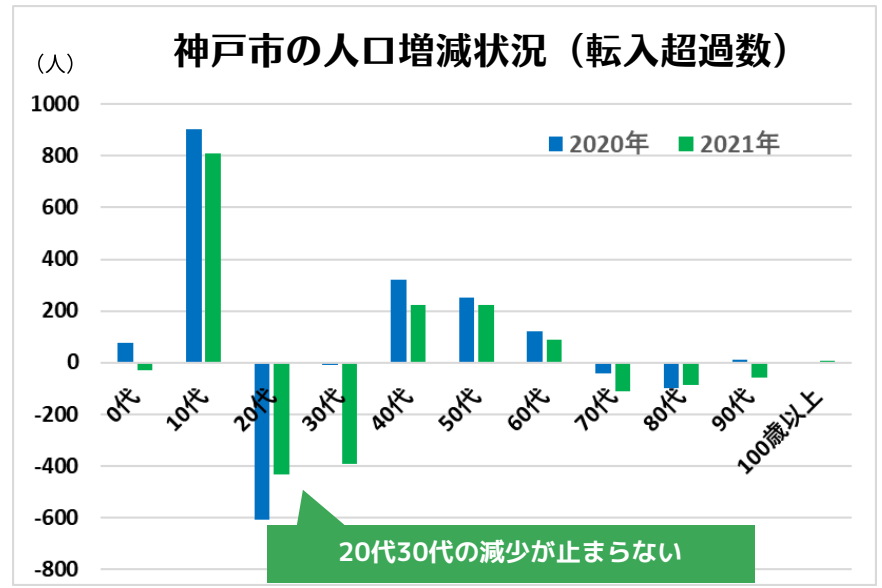
(上原)

人口減少が止まらない神戸市において、「こうべぐらし応援補助金」は子育て世帯の移住支援でしかない。特に**20歳代の若者**が年間**2万人も他都市に転出**している実態は喫緊の課題だ。**リモートワーカーをターゲット**に補助金などのインセンティブによる**転入促進**をすべきだ。

令和2年度まで、神戸市は県市協調事業として「移住支援金」を実施していたが、**2年間で交付件数はたったの3件**。そのため昨年度から実施していない。

通常、事業実施前に対象となる人物像の性格やライフスタイルを分析・想定するのがマーケティングのセオリーだが、**驚くべきことに神戸市ではターゲットの要望について全くリサーチせず、把握していなかった**。

これでは、全国の都市間競争が激化する中、神戸市の移住促進ができるわけがない。



住民基本台帳法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計した人口動態

## 他都市の移住促進策

静岡県富士市	東京圏からのテレワーク移住者の引っ越し費用や住居取得などに最大50万円の補助
茨城県取手市	東京圏からのテレワーク移住者には制度併用により200万円の補助
岡山県岡山市	テレワーカー向けお試し住宅提供や、移住者への家賃補助
茨城県下野市	テレワークのための移住者に月額最大5万円の家賃補助
青森県青森市	出社する際の交通費補助、コワーキングスペース、シェアオフィス等の設備利用補助、東京23区からの移住に60万～の補助
茨城県日立市	住居費用100万円、テレワーク助成や水道料金最大151万5千円支給、「移住支援金」を合わせて252万5千円支給

上原みなみ調べ（2022年11月）

(上原)

**神戸市の移住促進事業は、ズレていないか？**

神戸のお試し移住や就労体験機会の創出事業の宿泊が、**なぜホテルなのか？**「こうべぐらしコンシェルジュ（※）」は相談のみで、神戸移住に結び付いているか、**なぜ検証が出来ない状況を放置しているのか？**例えば、移住を相談された方へはサンクスレターを送り、それを転入時に区役所に持っていけば、ウェルカムプレゼントが貰えるようにすれば、実績がつかめるのではないかと。（※移住や住み替えの専門相談員（神戸市役所内））

(小原副市長)

特に若年者を含めて移住促進に向けての取り組みについてはご指摘の通りだ。ターゲットを絞り、その後の成果が具体的にどのように上がっていくかについて、**把握していくのは非常に大事なことだ**と思っている。

(上原)

**事業を実施しても内容がズレていると、無駄になってしまう**。一方で委託グセがついてしまうと、ノウハウが残らず職員が育たない。そこでマーケティングに長けた職員育成のため、外部人材登用や専門職登用を促進する必要があるのでは？

(小原副市長)

専門職と外部人材についてはおっしゃる通り、必要に応じてそういった人材の活用も考えていきたい。

(上原)

住宅情報サイト「アットホーム」をみると、北九州市の子育て世帯移住支援は掲載されているが、同様の補助金を出している神戸市は紹介されていない。もっと「**見せ方**」「**マスコミが取り上げやすさ**」を意識した**広報**をすべきだ。

私なら、リモートワークの若者の移住促進のためには、**企業への働きかけではなく、直接、リモート企業に勤める社員に周知**できる方法を考える。汗をかいてでも優秀な若者の移住を実現するんだという当事者意識を持って、市の事業に取り組んでいただきたい。

見逃さないで！  
神戸のお得情報

R4.4～R5.3生まれの  
新生児を育てるご家庭へ

15万円  
現金給付



転入された方も  
対象になります！



神戸の洋服・靴・真珠・  
パン・スイーツなど  
神戸の逸品が**30%**割引で  
買える  
神戸ブランド  
エールクーポン



利用期限は  
R5.2/15まで

お得情報を見逃さないためにも  
上原みなみ公式LINEをご登録ください！

